交配相談サービス実施農家レポート【猿払村：金子牧場】

～『はじめの一歩』始めました～

ジェネティクス北海道交配相談サービスは『はじめの一歩』をキャッチフレーズに掲げ、2009年よりサービスを開始しています。

今回は、開始直後より本サービスを活用して頂いている猿払村金子牧場の後継者、金子貴志さんにお話をお伺いしましたのでご紹介します。



猿払村は、「日本最北の村」として、北海道の最北部にあたる宗谷管内のほぼ中央に位置し、カナダのモントリオールとほぼ同じ緯度にあたります。主な産業は酪農業と漁業で、特にホタテの産地としても有名な地域です。（猿払村ＨＰ参照）
www.vill.sarufutsu.hokkaido.jp/

■金子牧場の概況について教えて下さい。

「経営主は、父親（清さん）で、私は後継者です。搾乳牛頭数47頭で、1頭あたりの平均乳量は9,656kg、平均産次数は2.6産です。人工授精はJA東宗谷猿払支所に依頼しています。」



■ジェネティクス北海道の交配相談サービスをどのようにして知りましたか？

「2008年頃、若手後継者の集まりである『さるふつ村楽農塾』で開催された乳牛改良の講習会に参加した時に、この交配相談サービスを知りました。当時、後継者として実家で働き始めたばかりで乳牛改良に関する知識が少なかったため、勉強のつもりで利用を決めました。また、サービスの利用にあたって、無料であったことも始めたきっかけとなっています。」

■交配相談を利用してどのような感想をお持ちですか？

「牛群の長所と短所を確認することができ、さらに改良目標を設定することで、適した種雄牛を知ることが出来ました。また、交配相談を利用する前から気にしていた1頭ごとの近交係数を知ることができたことも良かった点です。近交係数は『多分高いのだろうなぁ』と思っていましたが、結果を見たら15.0%以上の個体がいたことに本当に驚かされました（笑）。」

「交配相談を利用する前は、技術員や酪農家の仲間達が種雄牛のことを話していても、解らないことが多かったのですが、ジェネティクス北海道の交配相談担当者と年数回打合わせをすることで、徐々に乳牛改良に関する知識が増え、今では授精の際に種雄牛を自ら選定するようにしています。今後は、交配相談の結果表を有効に活用して、牛群全体のレベルを上げて行きたいと思います。」

■今後の牛群改良の方向性について教えて下さい。

「飼養管理のしやすさを重視しています。そして丈夫な肢蹄と乳器を持った長命連産性に富む牛群を目指し、能力を徐々に上げていきたいです。種雄牛の選定は国産、輸入精液にこだわっていませんが、能力の低い種雄牛は極力外し、体型、特に肢蹄および乳器と能力とのバランスがとれた種雄牛を利用したいです。」

【金子牧場では、交配相談の目標形質を第1形質が肢蹄、第2形質を乳器で設定し、JAの選定種雄牛の中から推奨種雄牛を抽出しています。これらの形質が均一性に富んだ牛群になる事を目指しています。】

■交配相談サービスについて一言

「交配相談サービスのおかげで、技術員や酪農家の仲間達と乳牛改良や種雄牛の話が出来るようになりました。これからは、楽農塾や改良同志会の仲間達ともっとコミュニケーションがとれるようにしていきたいです。今後の要望として、牧場の入り口等にジェネティクス北海道の交配相談サービスを利用していることが分かるような目印を作ってほしいです！」（検討します！）

貴志さん、貴重なご意見とご感想を頂き、大変ありがとうございました。

本団の交配相談サービスは、まだまだ始まったばかりですが、金子牧場では、牛の変化よりも先に人の変化が表れ始めているのではないかと感じました。『はじめの一歩』が着実な一歩の積み重ねとなるよう、これからもより良いサービスの提供を続けていきたいと考えています。

（改良情報課 大林敏朗）